

PTC Cloud の製品データ管理 データを有効活用しましょう

非効率的なデータ管理に伴う問題

一般的に製品データ管理 (PDM) は、3D モデルや 2D 図面などの製品データの管理、リリース、共有を行うエンジニアリング部門の役割です。

PDM が効果的に行われていないと、製品設計者は日々の課題に気を取られ、主要な設計活動で生産的に作業することができません。そうすると、製品情報の検索や設計の再作成、システムのアップデート、リクエストへの対応に無駄な時間が費やされることになります。

また、現代の製造環境は課題が増加しています。複数の CAD ツールが使用され、製品データの量と複雑さが増大し、チームの分散化が進んでいる一方でコラボレーションの必要性は高まっています。

データ管理の担当

ほとんどのケースで、製品設計者が日々の仕事の一部としてデータ管理業務を担当しています。しかし自覚の有無にかかわらず、データ管理システムがないと次のようなデメリットが生じます。

- ・ 再作業が増加し、生産性が低下する
- ・ 新製品導入やプロジェクトに遅れが生じる
- ・ バージョン管理が不十分になる
- ・ 記録システムを特定できない
- ・ データ変換に問題が生じる
- ・ IP の喪失や盗難が起こり、セキュリティが不十分になる

「
平均的なエンジニアは作業時間の 25% をデータ管理のために失っています」

『[PDM バイヤーズガイド: PDM の価値を最大限に引き出す](#)』、Tech-Clarity

製品設計者がエンジニアリング以外のチームに情報を提供する役目を担うため、こうした問題の存在がストレスの原因になっています。関係スタッフは、エンジニアからの情報を頼りに各自の製造プロセスを開始しますが、適切なツールがないと、エンジニアがリアルタイムの製品情報を伝えることは困難になります。品質関連のコストや生産性の低下、コラボレーションやイノベーションの問題など、その悪影響は各チームの想定以上になる危険性が高いと言えます。

PTC Cloud ベースの PDM で製品情報を管理、共有、確認

PTC のソリューションなら、最新のマルチ CAD データと製品データを一元的に把握できるため、データ管理が容易になります。製品設計者は、役割ベースのセルフサービス型アプリケーションと 3D ビジュアライゼーション ツール、拡張現実技術を利用して、エンジニアリング分野以外のスタッフと、使いやすいデータを安全に共有できます。Windchill ソフトウェアを土台として、PTC Cloud で利用できるようになった PTC の PDM ソリューションを利用すれば、データ管理の負担を減らし、製品設計者が本来の仕事である設計に専念できるようになります。

管理

- Microsoft Office、デスクトップ、MCAD ツール (Creo、Creo Elements/Direct Modeling、Creo Elements/Direct Drafting、SolidWorks、AutoCAD、Inventor) との緊密な連携が可能
- CAD データの関係性と依存関係を把握して取り込み、管理
- ファイルのバージョン/イテレーションを管理
- ワークフロー主導のレビュー/リリース
- 検索/再利用が簡単

共有

- ThingWorx Navigate で、役割に応じて製品データにセルフサービス式アクセス
- 制御された安全なプロジェクト環境で設計関連のコラボレーション
- マネージド型のコンカレント設計環境
- デスクトップやモバイル ツールから Web を介して簡単にアクセス

レビュー

- CAD/ドキュメントのレビュー、比較、リリースのプロセスを簡略化
- CAD を使用しないユーザー向けに軽量な 3D/2D 製品データを自動的にパブリッシュ
- オンラインのマークアップや赤線、検証のトレーサビリティと履歴管理
- 拡張現実で実寸大の 3D 設計をレビュー

PTC Cloud

- 専用のソフトウェア アズ ア サービス (SaaS) インスタンス
- PTC 主導のアップグレードとアップデート
- 実証済みの世界レベルのパフォーマンスと信頼性
- 業界標準のデータ保護機能で安全にコラボレーション

エンジニアの時間に余裕が生まれることのメリット

PDM システムによって作業負担が軽減されるため、エンジニアリング チームは付加価値のない管理業務に費やす時間を大幅に減らすことができます。SaaS 導入によって PDM システムを迅速に稼働させることができます。非稼働時間が低く抑えられ、製品情報を共有する際の安全性も高まります。

CAD の複雑性の管理

適切な機能を備えた新しい PDM システムが登場しています。こうしたシステムの主要機能を利用すれば、マルチ CAD データ管理や状況に応じたコラボレーション、クラウドベースのアクセス、柔軟な統合など、エンジニアが生産性を高めることができます。

『[エンジニアリングの生産性を侵食しているトレンドからの回復](#)』、Lifecycle Insights

そのほかにもビジネス全体にメリットがあります。エンジニアリングの生産性と効率性が向上し、エコシステム全体でのコラボレーションが活発化するため、製品開発コストが減少します。エラーとやり直し作業が減ることで製品品質が改善され、スループットが高まります。

最も優れている点は、エンジニアが設計と開発により多くの時間を割けるようになることで、製品のイノベーションが促進され、エンジニアのストレスがなくなります。

関心がある方は、今すぐ [PTC.com/PDM](https://www.ptc.com/PDM) にアクセスしましょう。

© 2017, PTC Inc. (PTC) All rights reserved. ここに記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。

J10617-PDM-in-the-PTC-Cloud-DS-JA-1217